



”貸し借り”のようなものがイメージしやすいでしょうか。

協力隊になったばかりの頃、私たちは”どこの誰かもわからないよそ者”ですので、信頼貯金の残高はゼロ。

それでも地域の方が野菜をくださり、協力隊の活動に協力してくださるのは、役場が培ってきた信頼貯金があるためです。

私たちは、役場の信頼貯金をお借りして仕事をしている状態です。

そうして1年、2年と協力隊活動をしていくうちに、あなた自身の貯金が貯まっていきます。自分で新しい企画を仕掛けていけるのは地域や職員さんを巻き込み、協力をしていただくということです。

そのためには信頼がものをいいます。信頼貯金残高がなければ、相手にされなくて当然です。

では、どうやったらこの貯金は貯まるのか。

1年目で重要なのは、言われた仕事をしっかりやりきることです。

小さな頼まれごとや約束仕事などですね。

さらには、地域の方々が当たり前に行っていることを地道に積み重ねていきます。

挨拶をする。飲み会に出る。悪口を言わない。地域活動に参加する。

地道に信頼貯金を貯めておけば、1年後に必ず役に立つはずですよ。

詳しくは雑誌「TURNS」Vol 52の地域おこし協力隊のトリセツでも書きました！

新年度ですので、基本に立ち返って活動していきましょう！

#### ■西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

### 【3】とち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）設立のお知らせ

北海道とち発、管内地域おこし協力隊の為にネットワークがついに始動しました！

代表の鈴木龍太郎さんより熱い想いをいただきましたのでご紹介いたします。

池田町地域おこし協力隊の鈴木です。今回、十勝管内にて協力隊の協力隊による協力隊のための『とち地域おこし協力隊ネットワーク（以下、TCN）』を立ち上げました。

私が活動している池田町を含めた十勝管内の協力隊員数は増加傾向であり、最新の令和4年度では18市町村で110人が活動しています。

ですが、私が昨年6月に移住着任し活動を進めていく中で、近隣市町村の協力隊の活動がなかなか見えにくかったこと、協力隊活動情報が更新されている自治体とそうでない自治体もあり、

協力隊研修会では「他の協力隊が何をやっているのか分からない」「振興局主催等の研修交流会以外の場で協力隊同士の交流や情報共有の取り組みが行いにくい」等といった声を聞いてきました。

同じミッションを抱えて活動している隊員も多いはずの十勝で横の連携が無いのは勿体ない、情報共有や交流の機会を増やせば自分たちの活動にも還元し、それが地域活性化にもつながるのではないか。

すると、北海道内ではすでに上川宗谷管内や留萌、オホーツク管内で現役協力隊のネットワークがあることを知り、昨年12月の全道研修交流会にて留萌管内ネットワークに関しての活動事例報告を聞いた上で十勝管内でのネットワーク設立を決意し、会場にいた十勝管内広尾町協力隊と具体的な話を進め、現在に至ります。

TCN は原則、協力隊活動時間外による任意の事業を通じた「十勝地域の活性化」をミッションに掲げ、協力隊の活動情報の共有や交流機会の確保、相互扶助の仕組みづくりに取り組んでいきます。

これらの実現を通して、協力隊の安心安全な活動遂行を下支えする基盤環境を整備し、TCN が十勝地域を盛り上げる協力隊の最良で最高のパートナーとなり、結果として協力隊の定住率向上による十勝地域の経済社会活性化や持続可能な発展に貢献できれば…そんなことを考えて活動していきます。

そしてTCNも協力するイベントを5月21日に開催します。

池田町にてブドウの苗植え&ランチ会と関係人口の勉強会を行います。ブドウの苗植えから約3年後に収穫、そしてその約5年後にはそのブドウからワインが生まれます。ブドウの苗植えを通じて約5年間の関わりシロを創ることができるこの機会に関係人口への理解と意見交換等を行います。

～イベント概要～

◆日時 令和5年5月21日

◆場所 十勝ワインぶどう園（池田町字千代田）及び池田ワイン城（同清見83）

◆定員 10名（予定）

◆プログラム

十勝ワインぶどう園にてブドウの苗植えとランチをし、会場を池田ワイン城に移し関係人口の勉強会を行います。

◆申込締切日 令和5年5月15日

◆お申し込み先

部署：産業振興課商工観光係 担当者名：鈴木龍太郎

電話：015-572-3218

Email：[event.ikeda3218@gmail.com](mailto:event.ikeda3218@gmail.com)

【4】地域おこし協力隊向けに、オンライン交流会を開催します。

きた北海道協力隊ネットワーク事務局長の谷合さんより、オンライン交流会のお知らせが届きましたので、興味のある方はぜひご参加ください。

谷合さんよりコメントをいただいております。

こんにちは！きた北海道協力隊ネットワークです！

きた北海道協力隊ネットワークでは今年度から新たに、道内で様々なミッションに取り組む地域おこし協力隊の方々が気軽に意見交換をできる場を作ろうと考えました。

そこで5月にオンライン交流会を開催します！

協力隊を続ける中で、思い悩んだり、将来に不安を抱えたり、相談できる人が身近にいなかったりと、立場やミッションによってさまざまな悩みを抱えている方がいらっしゃるのではないのでしょうか？

地域おこし協力隊の働き方は多様ですが、他の地域の協力隊の現状を知ることで視野が広がったり、自分自身を見つめるきっかけにもなるかと思えます。

また、協力隊どうしの横のつながりがあることは精神的にも心強いはずです。

オンライン交流会といっても気構えする必要はありません。飲み物片手に他の協力隊員とざっくばらんにお話しするだけです。

ぜひお気軽にご参加ください。

～オンライン交流会概要～

◆開催日時：令和5年5月26日（金曜日）19:00～

◆参加費：無料

◆参加資格：道内の地域おこし協力隊の方々

◆会場：Zoom オンライン（開催中の出入りは自由）

◆申込方法：Facebookの「きた北海道協力隊ネットワーク」ページでご案内します。

「きた北海道協力隊ネットワーク」でweb検索をお願いします。

（<https://www.facebook.com/kkn.manager/>）

◆問い合わせ先

きた北海道協力隊ネットワーク事務局長 谷合（たにあい）

メール：[kkn.information@gmail.com](mailto:kkn.information@gmail.com)

電話：080-2747-5307

※きた北海道協力隊ネットワークとは…

「きた北海道協力隊ネットワーク」（通称KKN）は、2017年からスタートし、現役の地域おこし協力隊が運営している団体です。

地域おこし協力隊の連携強化を第一目標として、行政と地域の方々と結ぶ団体として結成されました。メンバー募集中です。一緒に北海道の協力隊活動を盛り上げていきましょう！

## 【5】「北海道漁業就業支援フェア 2023in さっぽろ」開催のお知らせ

北海道水産林務部水産経営課よりイベントのお知らせが届きました！

「漁師さんと仕事をしてみたい」「海や釣りが好き」な地域おこし協力隊員向けの情報をお知らせします。

このたび、2月に引き続き、漁師になりたい人と漁師を育てたい人の相談会「北海道漁業就業支援フェア 2023in さっぽろ」が開催されます！

1年、1日の仕事内容や給与・休みなどについて知ることができますので、すぐに漁師になりたい人はもちろん、漁師という仕事に興味のある方、海や魚が好きの方もぜひご参加ください。

当日は、現役の漁師さんと直接お話が出来る、貴重な機会も設けておりますので、任期後のお仕事を探している地域おこし協力隊員の皆さま、「漁業担い手」に関する課題に興味をお持ちの協力隊員の方も、ぜひお気軽にご参加ください。

さらに、今回は漁業に関する地域おこし協力隊員募集のため、厚真町が参加します。みなさまの周りに地域おこし協力隊員を目指す方がありましたら、こちらの投稿をぜひシェアしてください！

これまでに、初山別村や奥尻町から地域おこし協力隊員を経て、漁業に就業した方もいます！詳しくはこちらをご覧ください（外部サイトに接続）

【奥尻町】小学4年生で抱いた漁師になる夢！奥尻高校への島留学で叶える（北海道の人、暮らし、仕事。くらしごと） <https://kurashigoto.hokkaido.jp/life/20211018091000.php>

参加費は無料で、当日参加、オンラインでの参加も可能です！みなさまのご参加をお待ちしております。

WEB サイトはこちら→<http://h-suisankai.or.jp/conference>

◆開催日時

令和5年（2023年）5月27日（土） 11:00～14:30

◆会場

ホテルライフオーツ札幌（札幌市中央区南10条西1丁目）

◆申込締切

当日参加可能（オンライン参加：5月25日（木）12:00 締め切り）

◆参加費

無料

◆問合せ先

北海道漁業就業支援協議会

担当者名：渡邊、米田

電話：011-280-3007

Email：[fish01@h-suisankai.or.jp](mailto:fish01@h-suisankai.or.jp)

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取組紹介でも構いません。他地域の皆さんの取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします。掲載を希望される方は、[sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp)までご連絡ください。

◆発行 北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課

◆住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

◆電話 011-204-5791（直通）

◆FAX 011-232-1053

◆御意見・お問い合わせ（当メールマガジンに関すること）

[sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp)

◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから  
<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

◆北海道地域おこし協力隊ホームページ  
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm>

◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。

□□□